

# 第5編

## スライド 1 - 6

### ろう通訳カリキュラム

#### 第5編：ろう通訳者の通訳理論と実践

© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers


  

### 第5編：ろう通訳者の通訳理論と実践

#### 各章のタイトルと順序

- 通訳モデル
- 翻訳
- 逐次通訳
- 同時通訳


© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章：通訳モデル

#### 主要課題

- ろう通訳者が通訳プロセスを理解するのに通訳の4つのモデルがどう役立つか？
- ろう通訳者は通訳者として自分の優れている面、あるいは改善しなければならない点などを確認するためにこれら通訳モデルをどのように活用できるか？
- ろう通訳者が、通訳失敗の根本的な原因を知り解決するのに、この4つのモデルがどう役立つか？
- ろう通訳者は、通訳現場で有効な判断をするために、これら通訳モデルをどう活用できるか？




© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章：通訳モデル

#### 通訳と翻訳

- 通訳とはどのようなことを意味するのか？また通訳とはどのようなことをする仕事なのか？
- 翻訳とはどのようなことを意味するのか？また翻訳とはどのようなことをする仕事なのか？
- 内容を翻訳する場合、または通訳する場合、それぞれ目指すものは何か？
- 翻訳プロセスの概要を述べよ。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



  

### 第1章：通訳モデル

#### 紹介と概要：NCIEC Teaching Modules for the Classroom

- ろう通訳者が行う言語内通訳(イントラリンガル)と言語間通訳の違いは何か？
- 言語内通訳(イントラリンガル)の例をいくつか挙げて、それらについて討議する。
- 学習者はこれまで担当した言語間通訳の経験について改めて検証する。
- クラス内に第二または第三手話言語が流暢な者はいるか？


© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers


### 第1章：通訳モデル

#### Cokelyの社会言語学的モデル

- メッセージの受容一起点言語のメッセージを知覚する
- 初期処理一認識する
- 短期記憶として保持一チャンク化する
- 意図された意味の把握一理解する
- 意味的等価性の確定一分析する
- メッセージの統語的形成一準備する
- メッセージの産出一目標言語を表出する



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers





# 第5編

## スライド 7 - 12



### 第1章:通訳モデル

#### Cokelyの社会言語学的モデル(続)

- 講師が選んだビデオを見る
- ろうや盲ろうの通訳利用者の使用言語(ASLが優勢な言語、セミリンガル、など)を分析し、利用者に適した通訳モードを確認する
- Cokelyのモデルに関連して、利用者の言語またはコミュニケーションニーズが通訳上どのような課題となり得るか、その課題の解決方法について意見交換を行う



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Colonomosの通訳統合モデル(IMI)

IMIの要素である集中-変換-構想(CRP)に焦点を当てる

- 集中する: 起点言語のメッセージを理解する(観察、分析、メッセージの解放)
- 変換する: 起点言語の枠組みから目標言語への変換
- 産出の準備をする: 文脈に合わせての調整、内容の一貫性、感情・情緒への配慮、レジスター、相談できる人(チームの通訳者、スーパーバイザー等と通訳プロセスの調整について相談)



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Colonomosの通訳の統合モデル(IMI)(続)

- 講師が選んだビデオを見る
- ろうや盲ろうの通訳利用者の使用言語(ASLが優勢な言語、セミリンガル、など)を分析し、利用者に適した通訳モードを確認する
- IMIモデルに関連して、利用者の言語またはコミュニケーションニーズが通訳上どのような課題となり得るか、その課題の解決方法について意見交換を行う



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Gileの理解と努力モデル

- C(comprehension 理解力)=KL (knowledge of the language 言語の知識) + ELK (extra-linguistic knowledge 言語以外の知識) + A (interpreter's analysis 通訳者の分析)
- KLとELKは内容を把握するのにその効果性や質を高めるのに必要なものである



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Gileの理解と努力モデル(続)

- KL やELKがないと内容を把握しようとするためにさらに努力しなければならなくなる
- 事前準備は、内容把握の負荷を減らすのに不可欠であり、それにより、通訳に必要な知的エネルギーを保つことができる



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Gileの理解と努力モデル(続)

- 講師が選んだビデオを見る
- ろうや盲ろうの通訳利用者の使用言語(ASLが優勢な言語、セミリンガル、など)を分析し、利用者に適した通訳モードを確認する
- Gileのモデルに関連して、利用者の言語またはコミュニケーションニーズが通訳上どのような課題となり得るか、その課題の解決方法について意見交換を行う



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



# 第5編



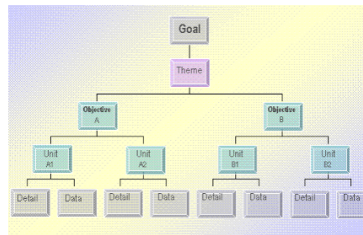
## スライド 13 - 18



### 第1章:通訳モデル

#### Gishの情報処理モデル

- 話者の意図
- テーマ
- 目的
- 構成単位
- データや詳細



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### Gishの情報処理モデル(続)

- 講師が選んだビデオを見る
- ろうや盲ろうの通訳利用者の使用言語(ASLが優勢な言語、セミリンガル、など)を分析し、利用者に適した通訳モードを確認する
- Gishのモデルに関連して、利用者の言語またはコミュニケーションニーズが通訳上どのような課題となり得るか、その課題の解決方法について意見交換を行う

© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### グループ討論:比較

- Cokelyモデル—メッセージの受容、初期処理、意図された意味の把握
- Colonomosモデル—集中する、変換する、構想する
- Gileモデル—情報処理
- Gishモデル—把握と努力



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第1章:通訳モデル

#### グループ討論:比較(続)

- この4つのモデルが、ろう通訳者が通訳プロセスを明確にするのにどう役立つか?
- ろう通訳者は通訳者として自分の優れている面、あるいは改善しなければならない点などを確認するためにこれら通訳モデルをどのように活用できるか?
- ろう通訳者が、通訳失敗の根本的な原因を知り解決するために、この4つのモデルがどう役立つか?
- ろう通訳者は、通訳現場で有効な判断をするために、この4つのモデルをどう活用できるか?

© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章:翻訳

#### 主要課題

- 書記トランスレーションとサイト(テキスト)トランスレーションはどう違うか?
- サイト(テキスト)トランスレーションは、逐次、同時通訳とどう違うか?
- ろう通訳者がサイト(テキスト)トランスレーションをすることが適切であるといえるのはどのような場面か?
- 翻訳に必要な知識や準備はどのようなものか?



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章:翻訳

#### 復習しよう

- 文書、記録の翻訳
- パケットトランスレーション
- パケットトランスレーションチェック
- サイト(テキスト)トランスレーション



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers





# 第5編

## スライド 19 - 24

### 第2章: 翻訳

#### サイト(テキスト)トランスレーション

- ろう通訳者に、書記または活字化された文章をASL、あるいはその他視覚コミュニケーション形式への翻訳が要求される場面を特定し話し合う。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### サイト(テキスト)トランスレーション(続)

- 固定化された(フローズン)文章
- 手順を説明する文章
- 説明文



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### サイト(テキスト)トランスレーション(続)

Gileモデルを利用して、翻訳にELK(言語外知識)が必要なものの:

- 固定化された文章
- 銀行当座貸越の知らせ
- テレビ字幕
- 医療同意書
- アパート賃貸の契約書



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### サイト(テキスト)トランスレーションのステップ

- 予測
- 内容のマッピング
- 特徴の分析
- 内容の視覚的表現
- 目標言語の特徴を予測
- 目標言語で語る
- 比較・対比分析
- 翻訳



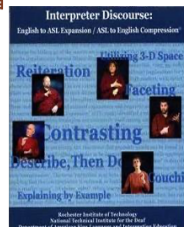
© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### 通訳者のディスコースについて復習

- 英語からASLへの展開
- ASLから英語への圧縮



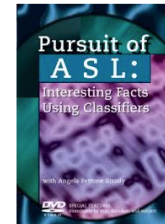
© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### グループでの意見交換

- Pursuit of ASL: Interesting Facts Using Classifiers* を見る
- ASLへの展開を特定する



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



# 第5編



## スライド 25 - 30



### 第2章: 翻訳

#### 英語からASLへのサイト(テキスト)トランスレーション演習

- 準備: 問診票、またはその他の文書
- 3人ずつのグループを作る
  - サイト(テキスト)翻訳者
  - ろうまたは盲ろうの通訳利用者
  - 観察者



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### 英語からASLへのサイト(テキスト)トランスレーション演習(続)

- 以下について観察したことについて話し合う
  - 引き出すための方略
  - 産出に関する方略
  - 文脈からの情報提供方略
- ろう通訳者実践に適用



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### 即時翻訳 演習

- 講師の選んだ字幕付きの映画、テレビ番組、ビデオ
- 予測
  - 出てくるトピック
  - 話し手の意図
  - 目立つ言語的特徴
  - 内容
- 翻訳の練習



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### 即時翻訳 演習(続)

- 訳出に英語の影響がないか
- ろう通訳者実践に適用



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第2章: 翻訳

#### NCIEC Teaching Modules for the Classroom: To Your Future Health Contemplating Interpreting in Healthcare

- ろう通訳者が以下を行うことが適切な場面は?
  - 単独でサイト(テキスト)翻訳を行う
  - ヘルスケア担当者が来るまで待つ
  - 通訳をする



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 主要課題

- ろう通訳者が逐次通訳すると決める要因にはどのようなものがあるか?
- 逐次通訳を行う論理的根拠についてろう通訳者はどう説明できるか?
- ろう通訳者が最大の効果を上げるために逐次通訳を選択するのはどのような場合か?



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers





# 第5編

## スライド 31 - 36



### 第3章: 逐次通訳

逐次通訳の概念について ビデオを見て復習する

- 歴史
- 長所
- スキル
- テクニック



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

逐次通訳の概念について ビデオを見て復習する (続)

- *Examples of a Deaf Interpreter's Work*
- *Deaf Interpreting: Team Strategies for Interpreting in a Mental Health Setting*
- *Deaf Interpreters at Work: Mock Trial*



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

逐次通訳の概念について ビデオを見る: 以下のスキルを実践しているか

- リスニング
- チャンキング(ためて記憶する)
- 短期記憶
- ノートテキング
- 意味の分析
- 意味の共同構築
- 通訳モデルの適用
- 産出



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

ディスコース(談話)分析のプロセス

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 予測             | 6. 起点言語で改めて内容を語る  |
| 2. 見て思い出す         | 7. 顕著な言語的特徴(目標言語) |
| 3. 内容のマッピング       | 8. 視覚的マッピング       |
| 4. 顕著な言語的特徴(起点言語) | 9. 目標言語で内容を語る     |
| 5. 抽象化            | 10. 通訳            |



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

事例1: 一般校の6年生の保健クラス

- 両親もろうのろう生徒。ASLがL1であり、英語はL2である。小学校ではSEEが使われているので生徒はSEEで教育を受けてきた。指文字を表しにくい(軽い脳性麻痺のため)。教師が生徒に求めているのは、傷のでき方を理解し、関連する用語を知ることである。来週には傷についてのテストがあり、多肢選択式の質問や穴埋め問題が出る。このテストでは、生徒たちは、傷がどのようにしてできるかについて完全な文章で回答ができなければならない。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

事例2: 一般校の中学2年生の生物学のクラス

- ろうの生徒は小学1年生の時から一般校でインテグレートして学んできた。スペイン語がL1、ASLがL2、英語がL3。両親は聴者で、どちらもスペイン語を話し、簡単なASLができる。少数のろうの友達にはASLを使う者もいれば手指英語を使う者もいる。教師の目標は人間の血液と循環器について教えることである。教科書のこの章には傷のでき方に関する記述もある。生徒は、循環器、傷について、また、血管が損傷しても血液がどンドン流出しない循環器の仕組みについて、作文を書かなければならない。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



# 第5編

## スライド 37 - 42



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例3: 医院

- 外国から移住してきたろうの患者で、30代後半。自国の手話に堪能である。米国に住んで2年経っており、他の移民やアメリカのろうコミュニティによりASLを身につけてきた。医者にかかるのは3回目で、血液検査の結果を聞くためである。医者の目的は、傷のでき方、なぜそれほど傷が多くできるのか、おそらく血液の病気によるものだろうということ、説明することである。その医者は症状について非常に心配している。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例4: 医院

- ASLがL1 (モノリンガル)のろうまたは盲ろうの母親を持つ聴の子供が患者。(母親は)数年間一般校に通った後ろう学校に転校し、そこを卒業。この子供が医者にかかるのは3回目で血液検査の結果を聞くことになっている。医者の目的は、傷のでき方、なぜそれほど傷が多くできるのか、おそらく血液の病気によるものだろうということ、説明することである。医者は子供の症状について非常に心配しており、白血病ではないかと疑っている。その子供の母親は大変感情的である。



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例の検討プロセス

- 絵または記号を描く、言葉は使わない
- ASLの談話構造や特徴を使う
  - 通訳の枠組みを作る技術
  - 適切なレジスターと談話の種類
  - 顕著な言語的特徴
  - 談話をコンテキストに合わせて展開する技術



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例の検討プロセス(続)

- 通訳する
  - 適切な目標言語
  - ASLバージョンとの違い
- 通訳実践
  - ろう通訳者
  - ろうまたは盲ろうの通訳利用者
  - 聴者の通訳利用者



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例の検討プロセス(続)

- 終了後の振り返り
  - 通訳の効果性を高めるために用いた要素
  - 通訳する際に用いられていなかった要素
  - 通訳の中で行われた言語的、文化的仲介の例(ろう通訳能力に関わる重要な部分である)



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第3章: 逐次通訳

#### 事例の検討プロセス(続)

- 意思決定のプロセス
- ディスコース分析とマッピング
- 通訳プロセスモデルの適用
- 学習経験
- スキル向上や今後応用すべき分野



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers





# 第5編

## スライド 43 - 48



### 第3章: 逐次通訳

#### グループ討論

- ろう通訳者が逐次通訳すると決める要因にはどのようなものがあるか？
- 逐次通訳を行う論理的根拠についてろう通訳者はどう説明できるか？
- ろう通訳者が最大の効果を上げるために逐次通訳を選択するのはどのような場合か？



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### 主要課題

- ろう通訳者が同時通訳をすると決める要因と理由はどんなものか？
- ろう通訳者が一般的に同時通訳を実践するのはどのような場面か？
- ミラー通訳と同時通訳の違いは何か？
- 同時、逐次、または両方を併用する場合もあることについての論理的根拠は何か？



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### 下記について復習する

- 定義
- *The Effective Interpreting Series: Simultaneous Interpreting from English* にある歴史とその活用
- Colonomos と Gish の通訳プロセスモデル
- ろう通訳者の実践への適用

© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### ろう通訳者の経験

- ろう通訳者が通訳しているのを見たのはどのような場面だったか？
- 講師選定のビデオを見る
- なぜ通訳方法として同時通訳が選ばれたのか？
- 学習者が「フィード」通訳を見る機会があったならば、その通訳者の使用言語(例: ASL、手指英語)や手話通訳者としての行動・態度について気づいたことは何か？
- 同時通訳の場でろう通訳者の仕事を観察し、気付いたことについて意見交換を行う。

© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### ろう通訳者の経験(続)

- ミラー通訳の定義について話し合う
- Colonomos と Gish のモデルの重なる部分
- ミラー通訳と同時通訳を比較する
  - 処理(プロセッシング)の深さ
  - 形式や意味
  - 努力



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### 同時通訳と逐次通訳の関係

- 逐次通訳と比較した同時通訳の正確性についての Russel の研究
- 同時、逐次どちらの通訳にするかを判断する際、何を考慮するか？
- 同時通訳と逐次通訳との間を行き来するのはどのような時が適切か？



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers





# 第5編



## スライド 49 – 51



### 第4章: 同時通訳

#### ASLのレジスター

- 種類
  - フローズン(固定)
  - フォーマル(公式)
  - 相談・協議
  - インフォーマルまたはカジュアル
  - 内輪
- 場面と対象者



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### 同時通訳の例

- ギャローデット大学卒業式での講演—WFD理事長
- ギャローデットのデフウェイIIでの講演シリーズ:ビデオ会議通訳プロジェクト、国際手話
- 全米ヘレンケラーセンター集会、盲ろう者対象



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



### 第4章: 同時通訳

#### 盲ろう者への考慮

- *Teaching Modules for the Classroom: DeafBlind Interpreting*
- *Pro-Tactile: Understanding Touch Techniques to Facilitate Communication with DeafBlind People*
- *Pro-Tactile: The DeafBlind Way*



© 2016 Digital Edition • Deaf Interpreter Curriculum • National Consortium of Interpreter Education Centers



